

授業科目名	成人看護学実習Ⅱ	担当教員名	教授 若崎淳子 助教 井上和子・佐藤亜美
開講年次及び学期	3年次後期	必修・選択の別	必修
開講形態	実習	時間数	135 単位数 3
授業概要			
<p>成人期の特性を踏まえ、慢性期にある対象を全人的に理解し、QOLの維持向上を目指し、患者の健康問題に応じた看護の実際を学ぶ。</p>			
G I O (教育目標)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期の身体的・精神的・社会的特徴を踏まえ、慢性期にある患者を全人的に理解する。 2. 成人期の身体機能と慢性期にある患者の病態、治療・療養過程、セルフケア能力との関連から、患者に必要な看護を判断する。 3. 慢性期にある患者の看護上の問題を明確化し、必要な看護を計画立案・実施・評価する。 4. 長期にわたり治療を受けながら生活する患者とその家族の心理的状況を理解し、患者とその家族と適切な人間関係を築く。 5. 保健・医療・福祉などの多職種連携や協働の必要性を理解し、医療チームにおける看護職の役割と他職種との連携の実際を学ぶ。 6. 患者の意思決定を支え、実践を通して対象の人権を尊重した態度を身につける。 7. 安全な医療・看護の提供に関する基礎的知識と技術を身につける。 8. 実習を通して自己の学習課題に取り組める。 			
S B O (到達目標)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象を全人的に理解し、必要な看護を判断する。 2. 慢性期にある患者に必要な看護を計画・実施・評価する。 3. 患者とその家族と適切かつ円滑な人間関係を築く。 4. 医療チームにおける看護職の役割と他職種との連携を学ぶ。 5. 患者の人権を尊重した態度を身につける。 6. 実習を通して自己の課題を見つける。 7. 服装・身だしなみ・言葉使いは、援助者として適切である。 8. 実習期間を通じて提出物の期限を守る。 			
※下位項目は省略			

成績評価の方法

実習目標の達成状況と、次の内容により総合的に評価する。

1. 看護過程展開状況
2. 実習期間中に提出される実習記録の内容
3. 実習への取り組み姿勢

(誠実性、向上心、学習者としての主体的な学びの態度、援助者としての自己の客観視、人権への配慮、安全な看護実践に対する責任、自己の心身の健康保持)

4. カンファレンスへの参加状況
5. 出席状況

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

- ・別途、「実習の手引き」を示す。

授業計画(実習展開の概要)

	実施日・曜日	内 容	
1 週目	初日	<ul style="list-style-type: none">・実習病棟の概要を知る。・受持患者を決定する。 受持患者へのあいさつ(含:インフォームドコンセント)。・病棟における看護の流れと看護活動の実施を知る。	<p><病棟内オリエンテーション> 病棟の構造と設備、看護体制、患者の特徴と看護の特殊性、看護記録、受け持ち患者について等</p> <p><看護過程の展開></p> <ul style="list-style-type: none">・アセスメント
	2 日目以降	<ul style="list-style-type: none">・受持患者への看護を、<u>担当看護師や担当教員の指導を受けながら実施</u>する。・援助を通して、受け持ち患者の理解に努める。・受持患者の看護上の問題を明らかにし、根拠に基づく看護計画を立案する。・立案した看護計画に基づき、担当看護師の指導を受けながら受け持ち患者に実施する。	<ul style="list-style-type: none">情報収集・整理、分析・看護上の問題の明確化・計画立案、計画に基づく実施 <p>・実習 2 日目より、朝のミーティングの際、学生毎に、「一日の記録」、「ケア記録」と共に、1 日の行動計画を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・アセスメントし看護計画立案後は、「一日の記録」、「問題点リスト」、「看護計画」と共に、1 日の行動計画を発表する。 <p>注:「ケア記録」は必要時に用いる。 <中間カンファレンスの開催:金曜日または 2 週日月曜日></p>
		<ul style="list-style-type: none">・自己評価(中間):金曜日	

2週目		<ul style="list-style-type: none"> ・看護計画を評価・修正し、担当看護師の指導を受けながら、受持患者に実施する。 ・受持患者への看護を創意工夫し、<u>担当看護師や担当教員の指導を受けながら実施</u>する。 ・援助を通して、受持患者の全人的理解に努める。 ・自己の看護実践を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく実施 ・評価（含：追加・修正） 	
3週目	月～水	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ4名前後に編成し、緩和ケア病棟で実習（1日間）を行なう。 ・<u>担当看護師と共に行動</u>し、看護実践を見学・体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟実習 [担当看護師への報告] 1週目に同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく実施 ・評価（含：追加・修正）
	木	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟実習は12時で終了。 ・13時から学内にて記録の整理を行なう。 ・自己評価（最終） 		<p><実習振り返りの会の開催：病棟最終日の午前中></p>
	金	学内：カンファレンス「病をもつ生活者としての対象の理解と看護」（資料A3判1枚）		学内：思考・記録の整理

[実習時間] 8：30～15：30 行動計画発表後、ベッドサイドケア
15：30～16：00 学生カンファレンス
16：00～16：30 1日のまとめ・記録や思考の整理・あいさつ

[各週水曜日] 13：00～16：30 学内で思考や記録・看護過程の整理